

長谷部文雄 （はせべ ぶんゆう） 經濟學者。明治二十年六月（二十九年）愛媛縣生れ、昭和五十四年六月十三日歿（一九七一年七月九日）。大正十一年京都帝國大學經濟學部卒。同志社大學、龍谷大學各教授歴任。マルクスの原典譯と知られ、昭和二十五年『資本論』の完譯を果し、その後とも二種の改譯版を刊行。

譯書、リヤザノフ著『マルクス・エンゲルス傳』（昭和二年八月二十日岩波書店「岩波文庫」）、レーニン著『帝國主義』（昭和四年四月二十日岩波書店「岩波文庫」）、マルクス著『資本論初版鈔』（昭和四年六月二十日岩波書店「岩波文庫」）、エンゲルス著『反デュリング論』全二冊（上巻・昭和六年十月十七日、下巻・七年十月）十五日岩波書店「岩波文庫」、ローザ・ルクセンブルグ著『資本主義積論』全二冊（昭和九年七月十五日—十月十五日岩波書店「岩波文庫」）、同『資本蓄積再論』（昭和十年二月十五日岩波書店「岩波文庫」）、カール・マルクス著『貨幣・價格および利潤』（昭和十年五月二十日岩波書店「岩波文庫」）、同『賃労働と資本』（昭和十年六月二十日岩波書店「岩波文庫」）、ウエルズ著『世界文化史概観』全二冊（上巻・昭和十四年二月十五日、下巻・九月二十日）岩波書店「岩波新書」）、同『世界史概観』全二冊（阿部知二共訳、上・昭和十四年十一月二十日、下・七月二十日）岩波書店「岩波新書」）等。

著書『回想の河上肇』（合著・小林纏次・堀江芭一・松方三郎・宮川實編、昭和二十二年三月十五日世界評論社）、『資本論隨筆』（昭和二十一年七月十五日青木書店「青木新書」）等。